

講師

ジャズピアニスト **みお**
ベーシスト **福田将之**

生徒

しゃちょー
&
ごっちゃん

佐世保
ベース

文化の

チカラ

— させぼ文化情報紙 —

Vol.04

2024.4



← みおさん & 福田さん

ジャズの街させぼで

ジャズ体験!!

しゃちょー & ごっちゃん →



1. Intro ~イントロ~



佐世保が舞台のアニメ『坂道のアポロン』の挿入歌でも知られる『モーニン』の調べで始まったジャズ体験。講師は佐世保ジャズの伝道師になりたい! ジャズピアニストのみおさんとベーシストの福田さん。生徒には、“まちおこしコンビ”佐世保ベースのしゃちょーとごっちゃんのお二方。「ジャズの街させぼ」と言われるけれど、今さら聞けないジャズとは何ぞや?!を、しゃちょーとごっちゃんに体験していただきました!

♪ジャズの豆学

ジャズの名曲『モーニン』は“morning” (朝) のことではなく、“moaning” (うめき声) だった!



3. Solo ~ソロ~ アドリブを楽しもう!



そしてジャズ最大の魅力と言えば、アドリブソロ。アドリブでは曲全体の軸となる音に合わせて即興で演奏するから、譜面にあるのはコードのみ! ということは、譜面がない音を自由に弾いて表現するから、二度と同じ演奏はできない! 「その時のインスピレーションと他のパートとの音のやりとりから生まれるセッションを、是非楽しんで欲しいです! では! やっていきましょう!」と、「すごいな〜」とゆっくり感心している暇もなく、いきなりアドリブ体験をする運びに。

ピアノとベースに合わせ、『ド』の音1つで始まった緊張のアドリブ体験。しかし、不思議な程にしっかりとジャズのアドリブが成立している事に、1本の指でジャズを奏でている自分に驚くごっちゃん。そして、佐世保市出身のグラミー賞受賞者小川慶太さんとバンド経験があるというしゃちょーからは、わずかな時間だったにもかかわらず、「これまでではオーディエンスとしての自分しか想像出来なかったけど、セッションしたい!! という欲が出た。」と、早速のジャズミュージシャン宣言! が飛び出しました。

『ド』だけのアドリブ!



2. Theme ~テーマ~

ジャズを楽しむには、リズム! ということで、「キラキラ星」の演奏に合わせ、まずは一般的な手拍子“表拍”でリズム練習。そして“アフタービート”と呼ばれるジャズ特有の裏拍へ進むと、「キラキラ星」が一気にスウィング! 裏拍の手拍子を取る二人の足はリズムを刻み、「自然に身体が動く感じだった」と、リズムを取るだけでもジャズの世界へ誘われ始めたしゃちょーとごっちゃんの表情に、みおさんのピアノも楽しく弾けます。

♪ジャズのリズム

♪ジャズの豆学



4. Ending ~エンディング~

そもそも、生でジャズを聴いたのが初めてという福岡出身のごっちゃんは、「この体験で敷居が高いと感じていたジャズの世界が身近になった。」と話し、しゃちょーも、「ジャズの深みにはまる人の気持ち分かる!」と、すっかりジャズの世界に魅了された様子。そんな二人に、ジャズ伝道師の手応えを感じたみおさんは、もっともっと若い世代へもジャズの楽しさを伝えたい! と意気込みます。学校の授業や部活動で取り入れるなど、「ジャズの街させぼ」ならではの体験が出来る場所、機会がもっと増え、佐世保の街にジャズのリズムが刻まれ続けることを願うスウィングな時間となりました。

Let's Swing!

